

1. 目的

こどもたち一人ひとりが、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力及び問題発見・解決能力等を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につける。

2. 調査概要

(1) 調査日 令和7年4月16日(水)～4月24日(木)

(2) 対象学年 小学校 第5・6学年

(3) 調査内容

第5学年：国語・算数・理科・教科横断型問題(わくわく問題)・アンケート

第6学年：教科横断型問題(わくわく問題)・アンケート

※調査問題等は大阪府教育庁HPに掲載されています。

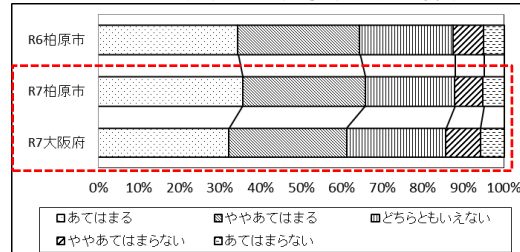
調査問題 https://www.pref.osaka.lg.jp/o180080/shochugakko/sukusuku/r7_monndai.html

結果概要 <https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/9078/r07sukusukukekkagaiyou.pdf>

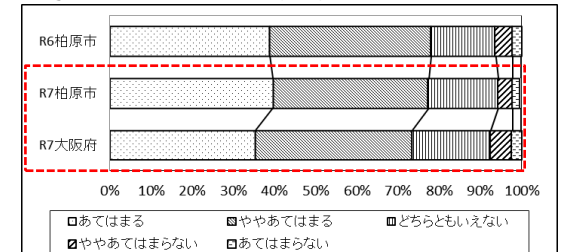
③児童アンケートの回答状況(5・6年全体)

○強みのみられる項目(大阪府との比較)

どこに行っても、新しい物事や経験を探す

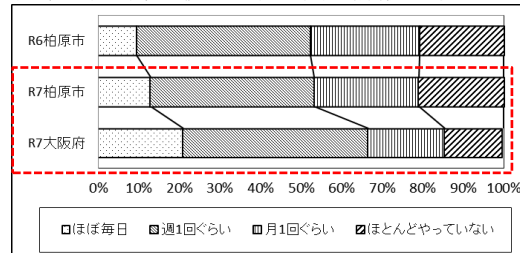


何事にも一生けんめい努力する

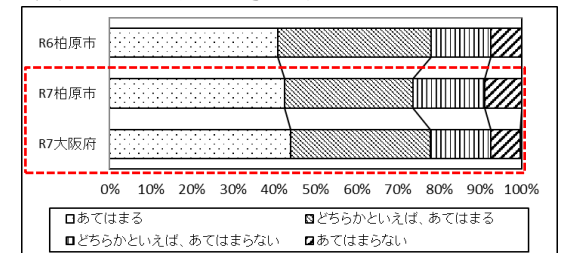


▼課題のみられる項目(大阪府との比較)

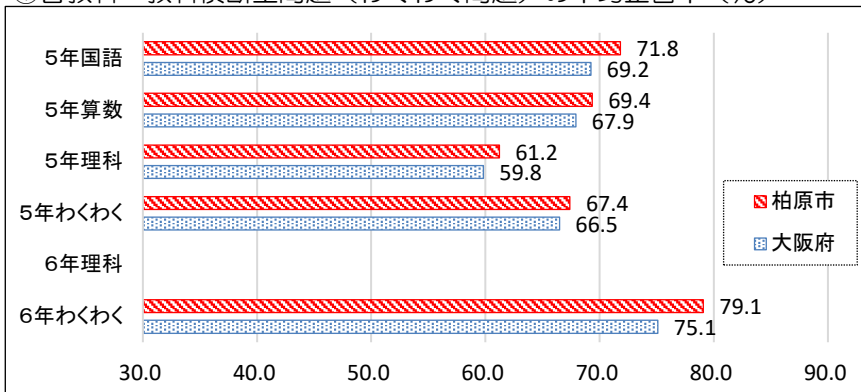
授業で、端末を使って、必要な情報を調べる



わからないことや知りたいことがあったとき、本やインターネット等で調べている

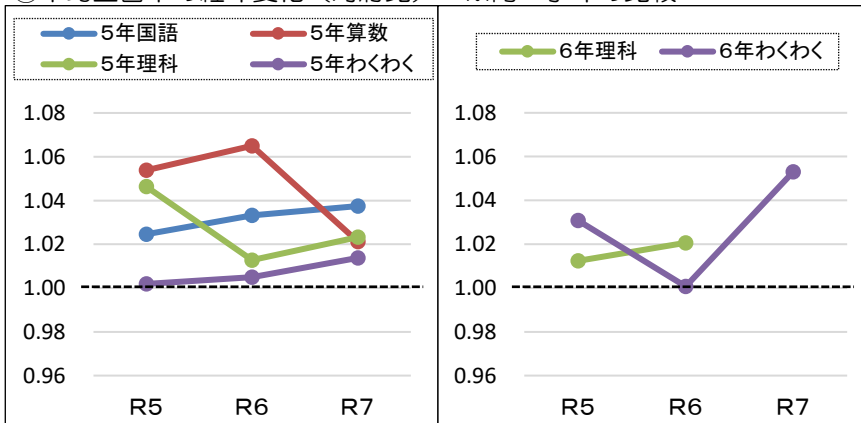


①各教科・教科横断型問題(わくわく問題)の平均正答率(%)

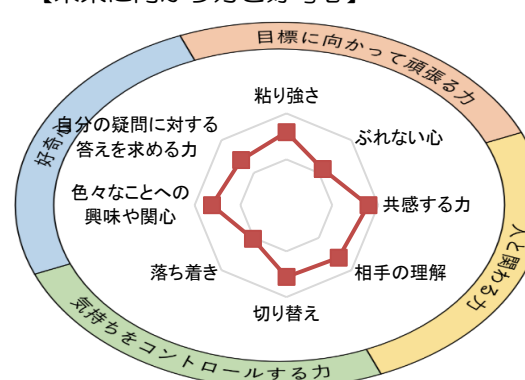


②平均正答率の経年変化(対府比)

※同一学年の比較



【未来に向かう力と好奇心】



※未来に向かう力(大阪府教育庁)

非認知能力について、「目標に向かって頑張る力」、「人と関わる力」、「気持ちをコントロールする力」の3つを「未来に向かう力」として定義されています。

詳細な結果を記載した参考資料は市HPに掲載しています。

https://www.city.kashiwara.lg.jp/docs/2021110900019/file_contents/file_202510245193125_R7sksk_sankou.pdf

《結果概要》

平均正答率より

5・6年生すべての教科・わくわく問題で府の平均正答率を上回っています。

アンケートより

粘り強さ、学級の安心感、家庭での主体的な学習に強みが見られる一方、タブレット端末を活用した学習には課題が見られます。

《引き続きご家庭にお願いすること》

- ①基本的な生活習慣の定着
- ②家庭学習・主体的な学びへの支援
- ③スマートフォン等の端末の適切な利用

